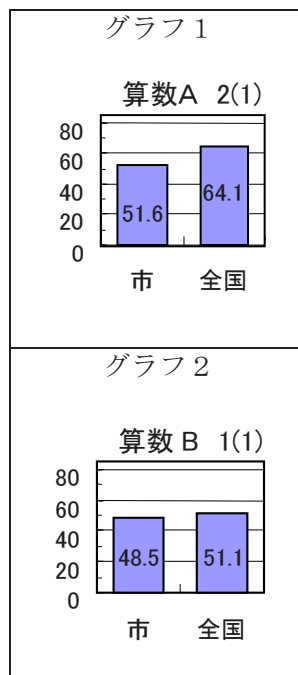


算数 【 数と計算 】

◇正答率からみた現状

| | 設問 | 出題の趣旨 | 市 | 全国 | 差 |
|---|------|---|------|------|-------|
| A | 2(1) | 数直線から数を読み取ることができる。 | 51.6 | 64.1 | -12.5 |
| | 2(4) | 偶数の意味について理解している。 | 82.2 | 77.4 | 4.8 |
| B | 1(1) | 図形を見だし、長さを求めるために必要な情報を選択し、求め方を式に表すことができる。 | 48.5 | 51.1 | -2.6 |
| | 3(2) | 棒グラフから必要な数量を読み取り、差を概数で見積もることができる。 | 56.2 | 54.8 | 1.4 |



☆算数 A「知識」に関する問題

- この問題は、偶数の意味についての理解をみるものである。2で割り切れる数が偶数であり、0も偶数であることを理解しており、全国平均をやや上回っている。
- この問題は、数直線上に示された1万より大きい数を読み取ることができるかどうかをみるものである。数直線の一目盛りの大きさを考え、それを基にして数を読み取る力が不十分であり、全国平均を大きく下回っている。

☆算数 B「活用」に関する問題

- この問題は、棒グラフから必要な数量を読み取り、差を概数で見積もることができるかどうかをみるものである。全国平均をやや上回っている。
- この問題は、階段から図形を見だし、示された部分の長さを求めるために必要な情報を選択し、求め方を式に表すことができるかどうかをみるものである。必要な情報を選択する力が不十分であり、全国平均をやや下回っている。

◇課題等

- 課題1 数直線の一目盛りの大きさを考え、正しく読み取る力をつける必要がある。
- 課題2 問題から必要な情報を見出し、既習事項を活用する力をつける必要がある。

◎ 課題に関連する単元とその背景にある問題点

【課題1】 ≪A 知識に関する課題≫

◇関連する単元

2年：「1000より大きい数」3年：「10000より大きい数」、4年：「大きな数」
5年：「整数の見方と計算」

◇背景にある問題点

▼ 数直線の一目盛りの大きさを読み取ることができていない。特に、1けた位が上がる部分での一目盛りの大きさの理解が不十分である。

【課題2】 ≪B 活用に関する課題≫

◇関連する単元

2年：「三角形と四角形」3年：「2けたのかけ算」

◇背景にある問題点

▼ 問題慣れをしていないので、問題文の内容が理解できず、必要な情報を問題から探し出すことができない。具体的な問題場面や生活の場において、既習事項を生かし、能率的に活用する力が不十分である

課題1の対応策

指導のねらい

- ・ 数直線の一目盛りの大きさに着目し、数を読み取ることができるようにする。

授業例

3年 10000より大きい数

学習内容・活動

(1) □に数を入れたとき、□の数はいくつになるか考えよう。

一目盛りの大きさを意識させることが重要

(2)

(3)

課題2の対応策

指導のねらい

- ・ 身の回りの事象を観察して事象を見だし、問題解決に必要な情報を選択できるようにする。
- ・ 身の回りの事象を観察して図形を見いだすなど、日常の事象を数理的にとらえることができるようにする。

授業例

3年 2けたのひっ算

| 学習内容・活動 | 指導上の留意点 |
|---|--|
| 1 本時の課題をつかむ。 レスキュー隊が避難訓練をしています。建物の屋上から、地上まではしごをおろします。1階の高さは4 mです。12階の建物に必要なはしごの長さを求めなさい。 | |
| 2 問題文から必要な情報を読み取る。 ・ 分かっていること ・ 求めること | <ul style="list-style-type: none"> ・ 問題文から何を求めるのかを確実に理解させるために、分かっていること、求めることのそれぞれ線を引かせ、必要な情報を正しくとらえられるようにする。 ・ 得られた情報は、図に表すことで、確実に問題を把握できるようにする。 ・ 長い文章問題に対して苦手意識が強い児童がいるので、問題を丁寧に読み、解釈しながら問題を理解していく作業が必要である。 |
| 3 得られた情報を図に表す。 | |
| 4 図をもとに立式する。 | |